

<h1>4年道徳</h1>	主題名「人命第一」 3-(1)生命尊重 資料名「人間愛の金メダル」
4年3組 教諭 川崎 義隆	<2次公開>6校時 14:20~15:05

1. 主題設定について

内容項目の特性・特徴

本主題は、道徳の内容3-(1)「生命の尊さを感じ取り、生命のあるものを大切に。」に当たる。中学年の発達段階においては、生命の尊さを感じることができるようになることが大切である。そのため、人間の生命の尊さについて考えを深めるとともに、生命あるものすべてを大切にしようとする心を育てていく必要があると考える。

主題の分析

中学年になると、現実性をもって死を理解できるといわれる。特にこの時期に、生命の尊さを感じ取ることができるようになる必要がある。

例えば、誕生の話から生を受けたことの素晴らしさを感じたり、病気やけがの様子から自分の生命の尊さを知ったりできるようにすることから、同様に生命あるものすべてを大切にしようとする心を育てる。

本主題では、資料を前半と後半の2つに分けて提示する。そして、資料の前半ではオーストラリアチームの選手が海に落ちたところまでとする。そこで、もしも自分がキエル兄弟の立場だったらどう行動するか問う。子どもは、資料にあるキエル兄弟の置かれた状況に心を寄せて、考えていくことになる。

後半の資料では、自分の夢よりも目の前の生命を選んだキエル兄弟の行動と背景に目を向ける。そうすることから、生命の大切さについて考えさせていきたい。

2. 授業改善に向けて

改善1【確かな学びの積み上げがある教材化】

・他の教育活動と関連付ける

道徳で学んだことを他の教育活動と関連付けて考えることができる指導計画を教師が行う。

本主題では、特別活動の「異学年交流」、総合的な学習や他教科と関連付けて、生命の尊さを感じ取り、生命を大切にしようとする素地を高めていく。

・「自分ごとになる」資料提示と発問の工夫

資料を前半と後半に分けることとした。キエル兄弟の立場を捉えたところで、自分だったらどう行動するか、考えるようにする。自分の立場と根拠を明確にした子どもは、「金メダルを取りに行く」「オーストラリアチームの選手を助ける」という2つの立場に分かれることに気付く。友達との考えのズレは、自分の考えを見つめ直すとともに友達に働きかける原動力になる。

改善2【子どもの学びが高まる3つの場】

・つかむ場

オリンピックは4年に1度開かれること、オリンピックに出場するための努力、オリンピック選手に対する周囲の期待の大きさを押さえる。そうすることにより、オーストラリアチームの選手が危機に直面した際のキエル兄弟の迷いについて考える基盤を築く。

・わかる場

「金メダルを取りたい」という気持ちと「金メダルよりも命が大事だ」という気持ちの中で揺れるキエル兄弟。自分がその状況に置かれたらどう行動するか、立場と根拠を明確にする。

吟味する交流では、自分の立場と根拠を明確にしたうえで、互いの考えを出し合うようにする。友達と自分の立場や根拠にズレを意識した子どもは、自分の判断の根拠を見つめ直していくことになる。

子どもはそれぞれの立場には背景となること、しっかりと根拠があることを捉えていくのである。その過程で、命に対する見方や考え方を広げたり、深めたりしていくのである。

・たしかにする場

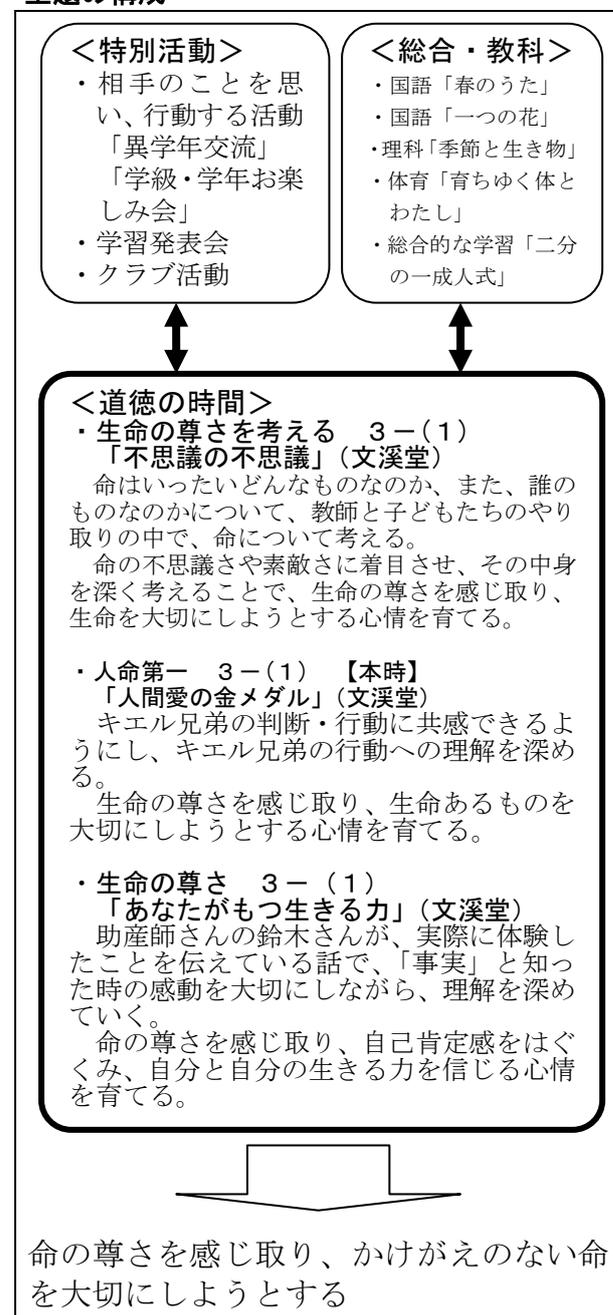
キエル兄弟が実際にとった行動を知ることで、自分の夢よりも人命を選んだ素晴らしさを感じ取ることができるようになる。そこで、助けた行動について、キエル兄弟に後悔があるのか問う。そうすることで、どんな時でも命が大切なんだということをつねえられるようにしていきたい。

3. 主題構成

・主題のねらい

生命の尊さを感じ取り、生命のあるものを大切に

・主題の構成



4. 本時案

本時の目標		生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。	
場	子どもの意識の流れと学習活動		教師のかかわり
つかむ	オリンピックに出場するためにどんな努力をしているのかを考え、キエル兄弟の心情をとらえる。	<p>○オリンピックに出場するために、選手はどのような努力をしているのかを考える。【話す】</p> <p>毎日、一生懸命練習する。</p> <p>自分の好きなことは、我慢して頑張る。</p> <p>○スタート直前のキエル兄弟の心情について考える。</p> <p>応援している人を裏切らないようにしたい。</p> <p>絶対金メダルをとるぞ。</p> <p>国の代表だから…。</p> <p>○「人間愛の金メダル」の資料（前半）を読む（「いつも以上にすばらしいです」まで。）</p>	<p>・国を代表して4年に1度のオリンピックに参加すること、レースには必勝の構えで臨んでいること、小さなときからたくさんの練習を積んでいることに気付かせる。</p> <p>【ICT③資料の提示・共有】</p> <p>・どの子にも大まかな話の展開が分かるように、登場人物の置かれている様子を確認する。</p>
わかる	キエル兄弟の葛藤に共感しながら、自分がその立場だったらどうするか、考える。	<p>オーストラリアの選手が海に落ちたぞ！「ハママ号」の選手だったらどうする？</p> <p>○ダイアブロ号が倒れているのを見た時のキエル兄弟の気持ちを考える。【書く・話す】</p> <p>・いつもより調子がいいよ。 ・他の人が助けてくれるよ。 ・自分も危ないかもしれないよ。 ・やっぱり金メダルをとりたい。</p> <p>・命が危険にさらされているよ。 ・目の前で死んでしまうかもしれないよ。 ・レースより、人命が大切だ。</p> <p>金メダルを取りたい！ ←→ 金メダルよりも命が大事だ！</p> <p>○後半の資料を読む ○レースを中断して、勝負を捨ててまで救助に向かった時のキエル兄弟の気持ちについて押さえる。【話す】</p> <p>やっぱり人の命が大切だよ。</p> <p>見殺しにはできないよ。</p>	<p>・キエル兄弟の置かれている立場や背景について押さえる。</p> <p>【吟味する交流の手立て】</p> <p>・「金メダルを取りたい」という気持ちと「金メダルよりも命が大事だ」という気持ちのどちらかを自分の立場と根拠を明らかにして考えを出し合うようにする。</p> <p>・キエル兄弟がとった行動がどうであったのかを押さえる。</p>
たしかにする	国民の期待を背負っていたにもかかわらず、人命を第一に行動したよさを深める。	<p>○キエル兄弟は、その行動を後悔しているかどうかについて話し合う。【話す】</p> <p>後悔していないよ。</p> <p>助けたかいたがあった。</p> <p>メダルより生命が大事だよ。</p> <p>○新聞にも取り上げられ、世界中から賞賛されていたことを知る。 ○振り返りを道徳ノートに書く。【書く】</p> <p>何よりも命が大切だということが分かったね</p>	<p>・「後悔しているか」問うことで、キエル兄弟の考え方についての理解を深められるようにする。</p> <p>・キエル兄弟の周りの人々の反応に目を向けることで、命を大切に行動の素晴らしさを感じさせる。</p>
本時の目指す子どもの姿	自分の立場と根拠をもって話し合いに臨むとともに、生命を大切にすることについての理解を深める姿。		

5. 板書計画

